



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2012推進ニュース

「社会保障・税一体改革」阻止・介護保障制度の抜本改善を！！

今年も介護の“Big Wave”をおこそう！

東京で

「介護職部会」立ち上げに向けた懇談会を開催！準備委員会が発足しました



◆やりがいアピールのための「介護のお仕事DVD」観賞中。真剣です



◆神奈川介護職部会の中村さんと綿路さん



▲「世話人になってくれる人いますか？」手が挙がりました！



♣今後の部会づくりを担う準備委員のみなさま

介護職部会づくりは東京民医連の前期からの課題でした。全日本民医連総会方針で部会づくりの提起がされ、各県連で部会づくりが進む中、まずは集まって交流しようと、10月13日（土）東京民医連「介護職部会」の立ち上げに向けた懇談会を開催し、50人が参加しました。



東京民医連・生田副会長のあいさつに続いて、2010年に介護職部会を立ち上げた神奈川民医連介護職部会の綿路孝さんと中村真希子さんから活動報告を受けました。神奈川民医連介護職部会は介護職同士が集まることからスタートし、その中でお互いの悩みを共有しあい、事業所訪問、職員アンケート、学習会、署名活動といったとりくみを通じて結集し、法人を越えた横のつながりをつくっていったことが紹介され、自作のDVDからもその活動の様子がとても楽しそうに見えました。その後、東京民医連介護・福祉委員会の菊地委員長から、正職員が750人を超えた東京民医連の介護職の状況と、介護職部会づくりへの期待が話され、6つのグループに分かれてグループ交流を行いました。東京民医連にこれだけ多くの介護事業所があり、仕事のことや後継者育成の課題など、いろいろ悩みを抱えていることが共有でき、今後、介護職部会をつくっていくにあたり、こんなことができればいいねといった希望や期待を膨らますことのできた交流となりました。最後に、介護職部会づくりを進めていく準備委員会の発足が介護・福祉委員会から提案され、参加者に立候補してもらったところ、11人が準備委員に名をあげました。「神奈川のDVDを見て、とても楽しそうだと思い、せっかく部会をつくるのなら楽しいものにしていきたい」など、それぞれが自己紹介と思いを語ってくれました。

結成に向けてこれからのスタートとなる介護職部会ですが、東京民医連のすべての介護職が介護のやりがいや働きがいの交流ができる場にしたいと願っています。

（東京民医連事務局 吉澤）



介護保険制度の「緊急改善」を求める5項目署名が届きはじめています！

青森から、337筆、石川から608筆、埼玉から2623筆、北海道と東京も民医連外からの事業所からそれぞれ5筆、15筆届いています。報酬改定後の「影響調査」でも分かるように、民医連外の事業所も、今の介護保険制度にはひとこと物申したい気持ちでいっぱいです。「基本的には民医連の理念と一緒に訴えていきましょう！ 7000筆まで あと 66412筆・・・

※注意 せっかくの署名です。FAXでは送らず、実物を郵送して下さい！

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・諏佐まで

☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp